



エコアクション21
認証・登録番号 0000098

有限
会社

中央電機商会 環境活動レポート 2010年度版

(2010年3月1日～2011年2月28日) 作成日:2011年4月1日

- 目 次 -

- § 1. 環境理念と環境方針
- § 2. 実績及び現状
- § 3. 今年度以降の目標
- § 4. 環境推進体制(組織図)
- § 5. 主な活動計画の内容
- § 6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無
- § 7. 事業の概要

§1. 環境理念と環境方針

有限会社中央電機商会は、環境保全が永続的に取り組むべき経営課題と認識し、下記の環境理念および環境方針を制定いたします。

■環境理念■

私たち有限会社中央電機商会は、社員1人ひとりがそれぞれの職場において、提供するサービス、販売する商品、および購入する資材など、常に環境を優先的に意識した業務を行うよう努めます。

■環境方針■

1. 法規制の遵守

環境汚染を防止する法規制を遵守するとともに、環境負荷を削減するための自主目標を設定し、その達成に向けた取り組みを行います。

2. 環境負荷の削減

サービス・販売・営業など、当社の事業活動の全ての場面において、エネルギーの消費を少なくするとともに、廃棄物を極力抑え、または廃棄物の適正処理を行い、環境負荷の削減を推進します。

3. グリーン購入の推進

資材、機器、備品および用品などのグリーン購入を推進します。

4. 社会貢献

環境保全活動について行政、地域との積極的な情報交換、情報開示を行い、社会貢献に努めます。

5. 環境管理体制の確立

社内における環境管理体制を整備し、環境保全に対するチェック体制を確立します。

2011年4月1日

有限会社 中央電機商会
代表取締役 高浦孝好

§2. 実績及び現状

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量及び排出量の現状

当社が先に掲げた2010年度削減目標に対して、2010年度の実績排出量を比較いたします。

「二酸化炭素排出量」、「廃棄物排出量」、「水使用量及び排出量」の実績は以下の通りです。

2010年度の目標設定値は、社有車の燃費を除く各項目について前年比2%減(-2%)を目標としました。

なお、二酸化炭素排出量に影響する社有車燃費も参考として記載いたします。

有限会社 中央電機商会 前橋本社及び第2工場の実績

	09年実績	10年目標	10年実績	対前年比		評価と原因分析 (達成○ 問題内△ 未達×)
				()内は目標値		
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	77,325.49	75,700.00	86,255.67	11.5%	(-2.0%)	△ 作業現場の移動距離と使用車両の増加により化石燃料消費量が増大した。
廃棄物排出量 (トン)	27.11	26.56	26.25	-3.2%	(-2.0%)	○ リサイクルの推進による処分減量に成功
水使用量及び 排出量(m ³)	296.00	290.00	334.00	12.8%	(-2.0%)	△ リース車両の入庫増加での使用量自然増
社有車燃費 (km/ℓ)	12.51	12.70	12.50	0.1%	(±0%)	○ エコドライブ推進継続により現状維持

Co2排出係数:0.378[kg-Co2/kwh]

2010年度を振り返って 代表者見直し

一 総 括

リーマンショック以降続いている国際的な経済の閉塞感が続く中、ギリシャの財政危機をめぐる国際金融情勢の不安から国際的な不況が更に深まっています。

国内経済もエコカー減税やエコポイント等の施策関連の商材以外は相変わらず低迷を続けており当社も依然厳しい経営環境下に晒されております。

そんな状況下ではありますが、兼ねてから力を入れて訴求販売してきたドライブレコーダーが安全とエコドライブマネジメントの両面から市場での需要の高まりにより従来から導入を進めてきた運送業界のみならず一般の業務車両に対しての導入に成功し、前半の運送業界の工事の後、後半は日々取付工事に掛かり切りになるほどの多忙を極めました、まさに全社一丸となって工期内完成にこぎつけることが出来ました。

これにより自動車整備、電装業として大きな成果を得ることが出来て社員全員のスキルも様々な面で大きく向上出来た一年となりました。

2010年度実績の評価について

エコアクションの取り組みとしてはCO2の排出量が電気使用量を削減出来たにもかかわらず、大型物件の出張取付業務の影響で総量で燃料使用量が増加してしまった為大きく目標を下回ってしまいました。しかし電気使用量の削減はクールビズとウォームビズの推進により削減できたことは評価に値するといえるので引き続き推進していきます。

水使用量も水使用に対する意識の希薄化により目標値を大きく上回ってしまいました。

一方、廃棄物関連は販売量増加に伴うダンボール等の梱包材の増加に対し、徹底したリサイクル推進により単純焼却を減らし目標を上回ることが出来ました。

全体としては目標設定が業務の成長率を考慮していないものであった為、来季の2009年度ガイドラインによる全拠点でのエコアクション21の実施に向けて環境委員会及びEA21事務局を中心に順次評価致します。

なお、2009年度ガイドラインによる全拠点への認証範囲拡大は今後4年以内に実施完了する事と致します。

§3. 今年度以降の目標

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量及び排出量の削減

各々、原則前年比-2.0%を目標値とする。Co2と水使用量は2010年度の目標値に再度取り組む事とする。また来年度から2009年度版ガイドラインに則り全拠点実施に拡大準備に取り掛かる。なお、これまでの本社での取り組みに停滞感や閉塞感のある項目については基本理念に立ち返り、あらためて目標値を設定し、全拠点全社員参加で達成出来る様取り組む。

二酸化炭素排出量

カーボンオフセットも視野に、電気、化石燃料使用量、廃棄物の排出量削減に向け対策を立て実行する。

廃棄物排出量

リサイクル、リユースに向けた分別を更に徹底し総排出量の減量に努める。

水使用量および排出量

最大消費の洗車作業効率の更なる向上と合理化を検討し実践する。

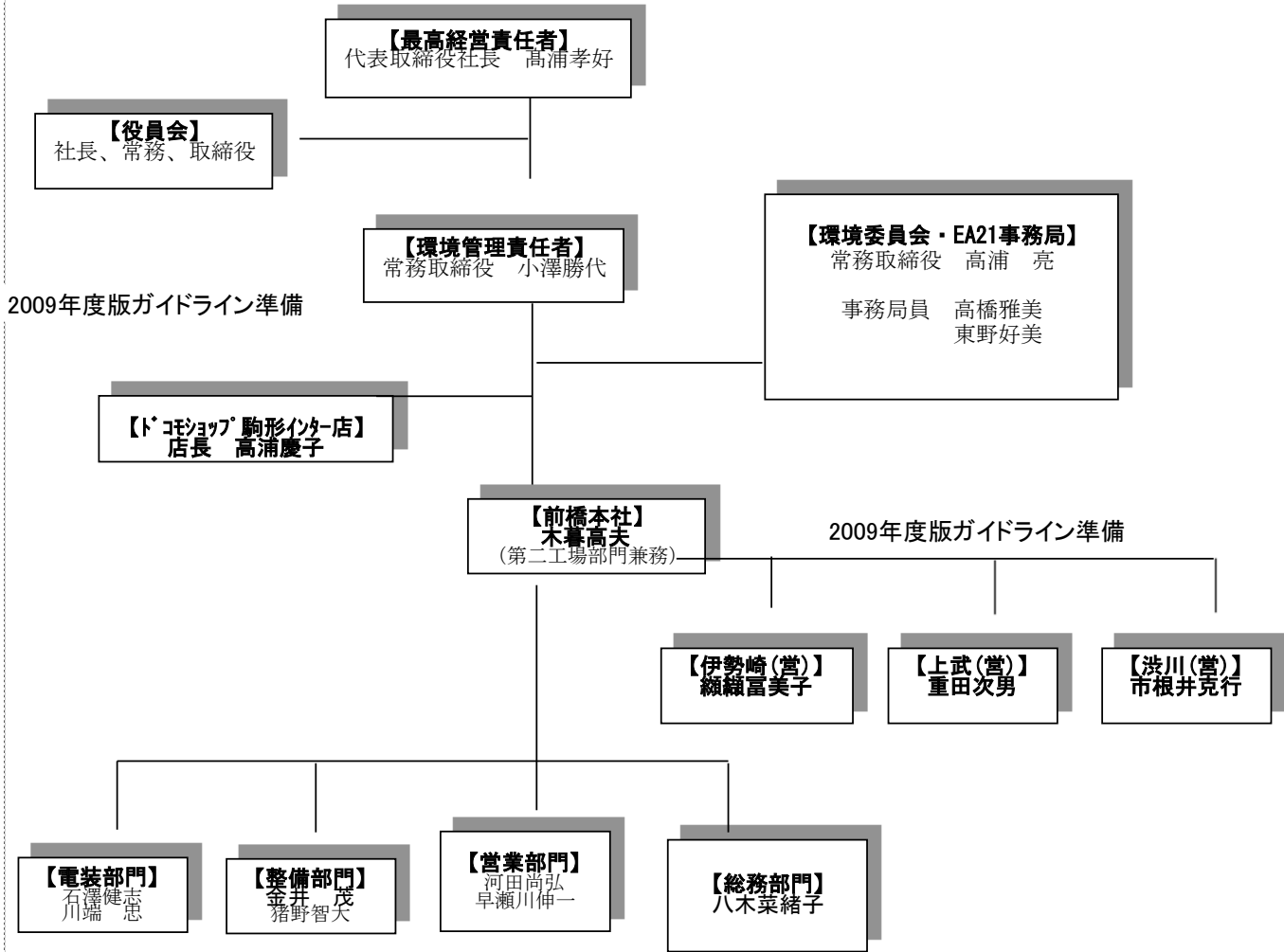
有限会社 中央電機商会 前橋本社及び第2工場の目標

	10年実績	11年目標	対前年比	取り組むべき課題
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	86,255.67	75,700.00	-12.2%	それぞれの持ち場でCO2排出削減に日々出来ることから改めて2010年の目標数値達成に再度全員参加で取り組む。
廃棄物排出量 (トン)	26.25	25.72	-2.0%	日常的になっている分別の更なる徹底を図る。再資源化品目を増やし、廃棄物の減量を促進する。
水使用量及び 排出量(m ³)	334.00	290.00	-13.2%	無駄の無い効率的な洗車業務を引き続き実践する。こちらもあらためて2010年の目標数値に再度挑戦する。
社有車燃費 (km/ℓ)	12.51	12.50	0.1%	再度全員で改めて日々のエコドライブに努める。コスト意識と共に対環境意識を高める。

Co2排出係数:0.378[kg-Co2/kwh]

§4. 環境推進体制

2010年度の推進体制について



§5. 主な活動計画の内容

2010年度の活動内容について

大項目	小項目	2010年										2011年	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
		上期					下期						
二酸化炭素排出量の削減	昼休み消灯の徹底(工場・事務所)	→											
	冷暖房の温度管理	→			→							→	
	保温肌着の着用推進	→		→									
	ガソリン・軽油の削減	→											
廃棄物排出量の削減	廃棄物分類の徹底	→											
	裏紙の使用推進	→											
	リサイクルパーツ使用推進	→											
水使用量及び排出量の削減	洗車場における節水	→											
	止水栓の点検(増し締め、緩みの点検)	→					→						
	洗い場、トイレにおける節水	→											
公害防止への取組	フロンガスの的確な取扱い	→											
	バッテリーの的確な取扱い	→											
	オイル類の的確な取扱い	→											
その他の取組	グリーン購入への取組	→											
	地域・社会貢献活動の推進	→							→				
	環境関連商品の積極販売	→											
活動実績報告	トラック協会でのEMS関連の展示会に独自参加で広く社会に貢献できた。安全意識の向上とエコドライブマネジメントの両面で訴求してきたドライブレコーダーの販売が運輸業界以外でも大きく進捗した。	【上期の取組と反省】 記録的な猛暑となったがクールビズの推進で電気消費量を抑えることができた。一方、洗車台数の増加により水使用量を増やしてしまった。					【下期の取組と反省】 エコドライブ推進を改めて進めるが移動距離増加によって全体消費量が増加した。結果CO2排出量を大きく膨らませてしまった。電気使用量はウォームビズ推進により上期同様かなり抑えることが出来た。						

§6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連事項について、違反または関係機関、ステークホルダーからの指摘はありませんでした。また、近隣住民からの苦情及び訴訟等もありませんでした。

§7. 事業の概要

- ： 有限会社中央電機商会 代表取締役 高浦孝好
- (1) 事業者名及び代表者名 : 群馬県前橋市石倉町5丁目14-14
- (2) 所在地(本社) : 環境管理責任者: 常務取締役 小澤 勝代
- (3) 環境保全関係の責任者 : 責任者(事務局長): 常務取締役 高浦 亮
- 連絡先 TEL: 027-251-7151 FAX: 027-252-2222
- (4) 事業の内容 : 自動車電装品整備業、自動車一般整備業、情報家電機器小売業
(認証・登録の範囲) 前橋本社及び第二工場
- (5) 事業の規模 : 売上高 732百万円 (2010年3月～2011年2月)
全社 51名 (内役員 4名 2011年2月現在)

以上